

プログラム及び抄録

開会の辞

第一部 講演 (15:00~17:00)

“インプラント治療の前に考えること”

○赤野 弘明先生 堺市 開業

臨床においてインプラント治療を適用する場合考慮すべきこと、とくに抜歯窩周囲組織の保存(socket preservation)について。また暫間用補綴のためのインプラント(temporary implant)、sinus lift を用いた症例等について講演いただく予定です。

(休 憩)

第二部 院内発表 (17:10~18:40)

1. “楔状骨欠損に対して、エムドゲインゲルを用いた症例について”

○大谷 真弘 (天王寺ミオ診療所)

歯周組織再生誘導材料のエムドゲインが従来までの2アンプルの混合タイプに加え、シリンジに入ったジェルタイプのエムドゲインゲルの発売が開始されたので使用してみました。

2. “前ろうと後ろうの特性について”

○井上 耕次 (天王寺ステーション診療所)

日々の診療の中で見過ごされがちな、ろう着の精度・強度・審美性についてを考慮することによって、技工サイドからの治療の目をドクターが少しでも持てるように、今回の発表を役立てて頂きたいと思います。

内容もさることながら、パソコン教室での成果を御覧下さい。

3. “Esthetic Dentistry”

○松井 徳彦 (難波診療所)

我々GPが考えるべき、Esthetic Dentistry (審美歯科) とは、どうあるべきかを再考し具体的にテトラサイクリン変色歯に対する審美修復症例を取り上げ、その治療法について解説する。

閉会の辞